

MacOSセキュアクライアントのVPN接続がConnecting状態のままになる

内容

お問い合わせ内容

cisco Secure Clientを実行しているMacOSデバイスはVPN接続を確立できず、接続状態が無期限に「Connecting」状態のままになります。ユーザがVPN認証を完了してリモートアクセス接続を確立できませんでした。問題はポスチャプロファイル設定を調整した後も解決せず、接続エラーのトラブルシューティングに役立つ診断ログがモニタリングインターフェイスに表示されませんでした。

環境

- Cisco Secure Clientバージョン5.1.11 (影響を受けるmacOSデバイスに最初にインストール)
- macOSオペレーティングシステム
- ポスチャ要件で設定されたVPNプロファイル
- VPN接続にセキュアクライアントを使用したリモートアクセス展開

解決策

この問題は、Cisco Secure Clientソフトウェアを新しいバージョンにアップグレードすることで解決されました。次の手順は、ライブトラブルシューティング中に実行しました。

ステップ1：現在のセキュアクライアントのバージョンの確認

トラブルシューティング中、該当するmacOSデバイスでCisco Secure Clientバージョン5.1.11が実行されていることが判明しました。これは、macOSとの互換性に関して古いと判断されています。

ステップ2：ポスチャプロファイルの調整の試行

最初のトラブルシューティングでは、macOS環境に対応するために、ポスチャプロファイル設定を「ユーザMac OS 26バージョン」に変更しました。ただし、この設定変更では接続の問題は解決しませんでした。

ステップ3：セキュアクライアントソフトウェアのアップグレード

推奨ソリューションは、Cisco Secure Clientをバージョン5.1.11からバージョン5.1.16にアップグレードすることです。該当するmacOSデバイスでアップグレードが実行されました。

ステップ4:VPN接続の確認

Secure Clientバージョン5.1.16へのアップグレード後、macOSデバイスでVPN接続が正常に復元されました。ユーザは、接続が「Connecting」状態のままにならずにVPN接続を確立できました。

Cisco IOSポスチャプロファイルに関する追加情報

トラブルシューティングプロセスで、ポスチャプロファイルは現時点ではCisco IOSデバイスでサポートされていないことが明らかになりました。異なるモバイルプラットフォーム間のポスチャ要件を計画する場合は、この制限を考慮する必要があります。

原因

VPN接続の問題の根本的な原因は、Cisco Secure Clientのバージョン5.1.11が古く、現在の

macOS環境およびVPN設定要件と互換性がなかったことにあります。古いクライアントバージョンではVPN接続確立プロセスを適切に完了できず、接続が無期限に「Connecting」状態のままになっていました。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。